

平成 26 年度 第 1 回 暁木会役員会

1. 日 時 平成 26 年 5 月 27 日 (火) 18:30~20:15
2. 場 所 三宮センタープラザ西館 6 F 3 号会議室
3. 出 席 者 畑会長、油井副会長、河村副会長

常任幹事

(宇都、中山、芦田、伊賀、山下、北田、矢野、恒藤、小川)

KTC：水池副理事長、足立理事

顧問：中村氏、梶谷氏、本下氏、田中氏、井澤氏

神戸大学：藤田教授、加藤准教授

4. 議事内容

(1) 総会報告・課題

- ・懇親会における挨拶時に学生の私語が多かったことから、事務局側が拍手等で注意喚起を行う。また大学側に総会時の注意事項に加え、注意喚起を依頼。
- ・各支部からの報告を効率的に行うためにも、本部で支部報告のフォーマット（概要、連絡先など）を作成し、卒業生に配布。

(2) 年間行事予定

- ・平成 26 年度年度行事予定について説明。

(3) 暁木会名簿の発行について

- ・名簿改定について説明。
- ・メール、職場班、学年幹事、支部と四つの方法で照会を実施。
- ・会費会員の増強に関して、名簿改定に加え、非会費会員に対する積極的な勧誘依頼を職場班担当者に対して同時に要請。
- ・8 月 18 日に KTC に最終データを送付、12 月 5 日には印刷発送の予定。

(4) 大学意見交換会での提案事項

- ・暁木会総会の報告とともに、学位授与式後の暁木会紹介及び総会開始時間の厳守や会場マナー（懇親会の挨拶時の私語等）についての指導を依頼。
- ・会費会員登録者の増強依頼。
- ・暁木会ニュースの原稿作成の依頼。

(5) 会費会員増強方策

- ・会費会員の登録状況について説明。(平成 25 年度は 49 名の増加。)
- ・最も成果が大きい職域単位での勧誘は継続。
- ・会費登録率の低い卒業～10 年次までの若手をターゲットにした働きかけが必要。今後、若手が入ってこないと暁木会そのものが成り立たない。
- ・若手に暁木会に興味をもってもらう一案として、暁木一水会の講師に 10 年次程度の若手を呼んで講演してもらってはどうか？
- ・若手の土木離れを止めるためにも、学生と教員あるいは OB との交流が必要。6 月 12 日の大学意見交換会でも提案事項とする。
- ・クラス幹事の役割が形骸化しているようであり機能していないのではないか？

(6) 暁木会ニュース目次案

- ・暁木会ニュース目次案について説明。
- ・9 月号は WEB 掲載のみ、12 月及び 3 月号は WEB 掲載＋紙面による発行。12 月号は名簿と、3 月号は KTC 会報と同梱し、配布予定。
- ・9 月号であかつき会の行事を PR する。

(7) その他

- ・支部助成金及び支部会員に関するヒアリング結果について報告。
- ・会費会員相当額以上の助成を各支部に対して行う意義は、今後議論が必要。
- ・支部にもこれまで以上に会費会員増強に向けた取り組みを強化してもらう。
- ・各支部より支部名簿を提供してもらった上で、事務局が会費会員との確認及び各支部へのフィードバックを行い、支部からも勧誘してもらうような取り組みを実施する。

(北田記)